

第2期 松山市まち・ひと・しごと創生総合戦略 令和3年度実績に基づく効果検証結果 総括表

(1) KPIの結果

区 分	基本目標① 少子化対策	基本目標② 移住定住対策	基本目標③ 地域経済活性化	基本目標④ 持続可能なまちづくり	合 計
◎ R3年度の実績値が目標値 を達成している	3	5	2	2	12
○ R3年度の実績値が基準値 を上回っているまたは同等	5	3	7	9	24
△ R3年度の実績値が基準値 を下回っている	2	0	4	5	11
— 実績値が未確定	0	0	1	4	5
合 計	10	8	14	20	52

## (2) 基本目標ごとの総括

### ● 【基本目標①】つながる未来を応援する（少子化対策）

⇒少子化対策の各種施策を実施した結果、2つの施策のKPIで、令和3年度の実績値が基準値を下回ったが、8つの施策のKPIでは概ね順調に進捗した。成果指標である「合計特殊出生率」は基準値を下回り、減少傾向がみられる結果となった。第2期総合戦略で、引き続き、出会いから子育てまで切れ目のない支援を実施するとともに、若い世代に対するライフデザインの構築や不妊治療に対する支援など、希望する人数の子どもを産み育てるための支援により、目標値の達成に向けて取り組んでいく必要がある。

### ● 【基本目標②】松山への定着と新しい人の流れをつくる（移住定住対策）

⇒移住定住対策の各種施策を実施した結果、全ての施策のKPIで、令和3年度の実績値が基準値を上回ることができた。

また、成果指標である「社会移動数（転入数－転出数）」も基準値を大きく上回った。

第2期総合戦略で、シビックプライドの醸成などによる若者の定住を促進するとともに、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、地方移住の機運が高まっている機会を逃さず、個々の相談者に寄り添った支援を推進していくなど、目標値の達成に向けて取り組んでいく必要がある。

### ● 【基本目標③】魅力ある仕事と職場をつくる（地域経済活性化）

⇒地域経済活性化の各種施策を実施した結果、4つの施策のKPIで、令和3年度の実績値が基準値を下回ったが、10の施策のKPIでは概ね順調に進捗した。また、成果指標である「市内総生産」が令和元年度の数字で基準値を上回る一方、「観光客推定消費額」では新型コロナウイルス感染症の影響により基準値を下回った。

第2期総合戦略で、少子化対策や移住定住対策の推進を下支えする地域経済の活性化を図るため、企業誘致やスタートアップ支援、ICTの導入促進による兼業・副業・在宅就労といった多様な働き方を創出し、若者の職業選択環境を整えるほか、アフターコロナを見据えた観光産業の振興や農林水産業の活性化など、目標値の達成に向けて取り組んでいく必要がある。

### ● 【基本目標④】住み続けたいまちをつくる（持続可能なまちづくり）

⇒持続可能なまちづくりの各種施策を実施した結果、5つの施策のKPIで、令和3年度の実績値が基準値を下回ったが、15の施策のKPIでは概ね順調に進捗した。成果指標である「中央商店街への来街者数」は、新型コロナウイルス感染症の影響により基準値を下回り、「今後も本市に住み続けたいと思う市民の割合」も基準値をやや下回る結果となった。

第2期総合戦略では、SDGsの考え方を市民や団体に浸透させる取組や、都市機能の充実と交通ネットワークの形成によるまちなかの賑わいづくり、地域防災力向上による自然災害に強いまちづくり、地域住民やNPO等とも連携を強化した協働のまちづくりを推進するなど、目標値の達成に向けて取り組んでいく必要がある。